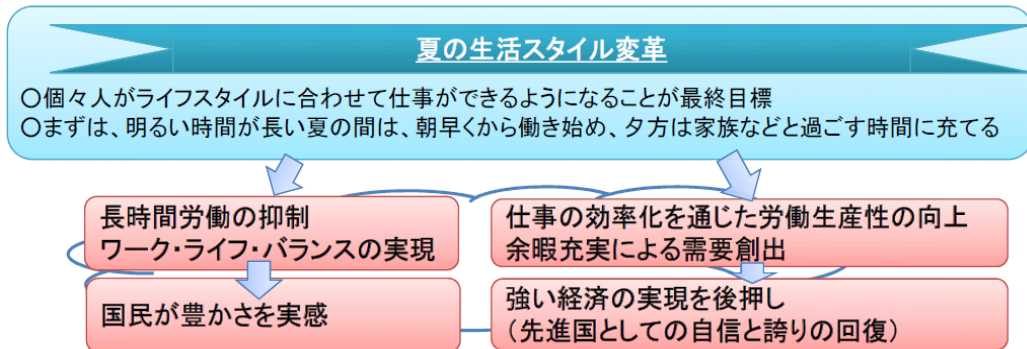


夏の生活スタイル変革（ゆう活）について

現在、政府では、働き方改革の一環として、明るい時間が長い夏の間は、朝早くから働き始め、夕方には家族などと過ごせるよう、夏の生活スタイルを変革する新たな国民運動に取り組んでいます。この「夏の生活スタイル変革」の通称を「ゆう活」（ゆうやけ時間活動推進）といいます。具体的には、夏の時期に「朝型勤務」や「フレックスタイム制」などを推進し、夕方早くに職場を出るといった生活スタイルに変えていくもので、それぞれの企業や働く人の実情に応じた自主的な取組を可能な範囲で実施することです。

（厚生労働省）



今年の夏から、朝型勤務を勧奨（フレックスタイム制も適宜活用）！

※国家公務員については、今年の夏から率先して朝型勤務を進めるが、フレックスタイム制を活用した朝型勤務については、所要の法改正がなされた後、実施する。

【早めの帰宅で保育園にお迎え】
朝7時30分に出勤、午後4時まで仕事。保育園に直行して子どものお迎え。明るいうちに子どもと一緒にお風呂。ちなみに、朝は夫が子どもに朝食を食べさせ、保育園にお見送りして10時に出勤。

30代 Aさん

【夕方は一人暮らしの母に会いに】
朝8時に出勤。午後4時30分まで仕事。夕方からは、80代の母の顔を見に郊外の実家へ。母は、まだまだ元気で介護はいらないけれど、一人暮らしなので少し心配。

40代 Bさん

【夕方は夫婦でテニスを楽しむ】
最近、運動不足を痛感し、妻と一緒にテニスを始めた私。定時退社したいので朝7時に出勤して1時間の「朝残業」。午後4時半の定時まで仕事をし、明るいうちに妻と一緒にテニスコートへ。

50代 C氏

実際に「朝型勤務」や「フレックスタイム制」の推進などに積極的に取り組んでいる企業は「働き方・休み方改善ポータルサイト」<http://work-holiday.mhlw.go.jp/>でも紹介されています。

ゆうやけ時に
悠々とした時間が生まれる。
友人と会える。
遊び時間が増える。
家族で過ごす**優**しい時間ができる。
新しい人・モノ・ことと自分が**結**ばれる。
勤務時間が、1、2時間早まることで生まれる自分の時間で生活を豊かにしていこう。



はじめよう！夕方を楽しく活かす働き方。



「歯に関することわざ」の巻 その1

【慣用句】歯のぬけたよう 【意味】あるものが無くなり寂しくなること。

【例 文】いつもは満席の講演会が、大雨の今日は空席が目立ち歯の抜けたような状態だ。



大阪府歯科衛生士会災害対策委員会からのお知らせ

「災害対策委員会」を設置しました。

職能団体として不測の事態に対応するための指針「大阪府歯科衛生士会 災害時行動指針」を作成し、防災対策・被災地支援のシステム確立を目的としています。会員の皆様には、随時情報をお伝えします。

※「安否確認システム予行演習」実施についてのお知らせを同送しております。参加よろしくお願ひします。